

# 国立台湾大学 校史館

## 參觀情報

**アクセス:** 台湾大学本部キャンパスの正門から入り、椰子並木  
通りを左側に沿って150メートル歩いたところ。

**開館時間:** 火曜日から土曜日まで 09:00-17:00 (祝日は閉館)

**電話:** 886-2-33663818

**メール:** historygallery@ntu.edu.tw

**住所:** 台北市羅斯福路四段一號

**公式サイト:** historygallery.ntu.edu.tw

**Facebook:** www.facebook.com/NTU.Musms.HistGall

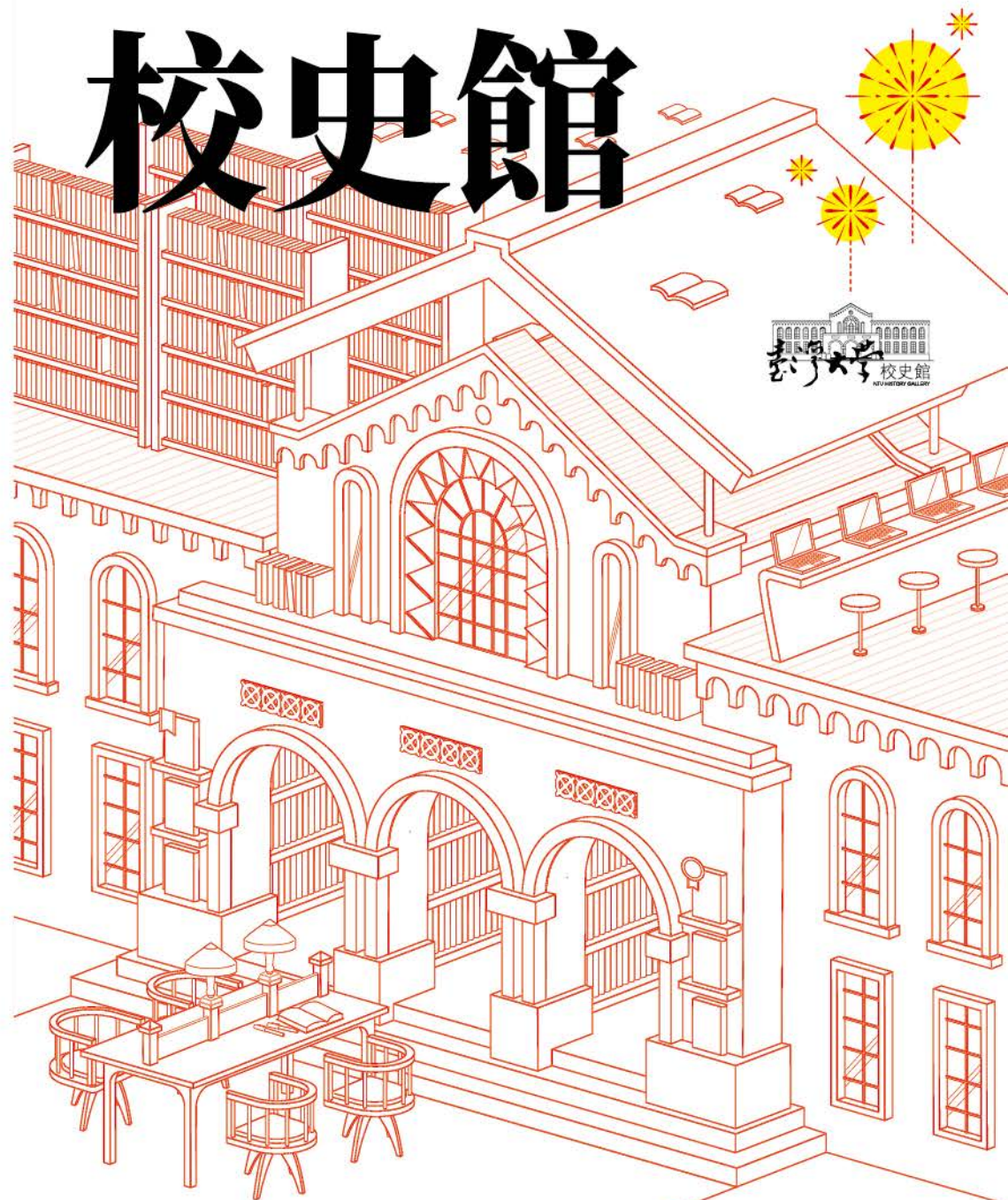


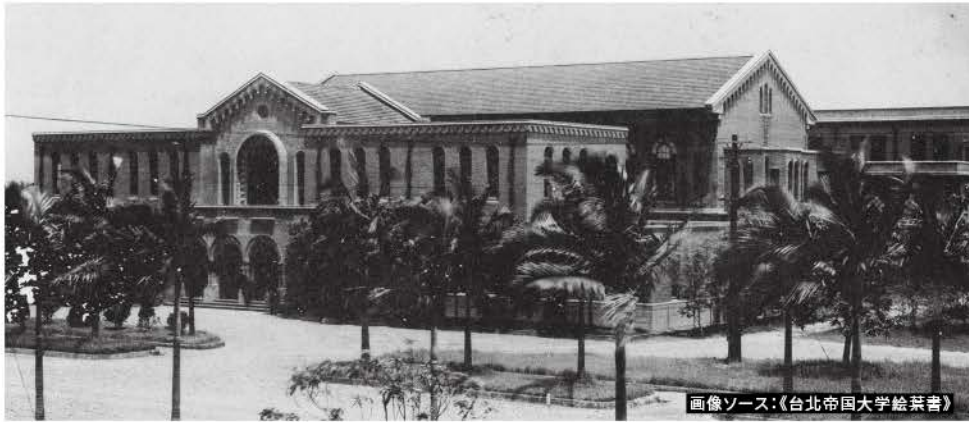
ガイドツアーオンライン登録  
(サイト表示言語は中国語のみ)



結婚写真お申込みページ  
(サイト表示言語は中国語のみ)

2024.12





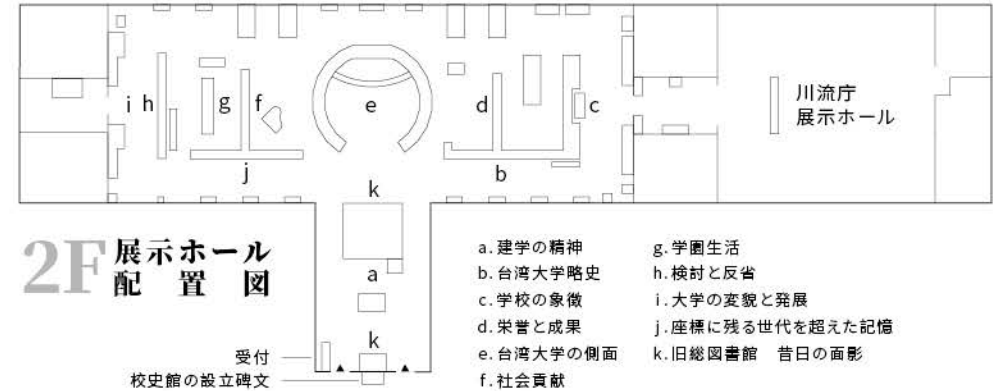
画像ソース:《台北帝国大学絵葉書》

## 校史館歴史

国立台湾大学の前身は日本統治時代の台北帝国大学で、1928年3月17日に創立されました。当時は台湾で唯一の大学でした。1945年の第二次世界大戦が終わり、11月15日に羅宗洛氏が教育部の指示により、国民政府を代表として、台北帝国大学を引き継ぎ、国立台湾大学へと改制しました。それから、1998年11月、総図書館3階の一角に台湾大学の沿革を簡潔に展示しました。2004年5月に、陳維昭学長は台湾社会の発展を裏付けられる台湾大学の歴史の重要さから、博物館レベルの運営手法で展示規模を拡大すると指示しました。

校史館常設展示ホールは旧総図書館の2階中央閲覧室にあります。旧総図書館は1929年に創設され、現在に至るまで5回増築が行われています。1998年の夏に、図書館は新しい場所に移転するにつれ、建物の利用は文学院に移ると同時に、台北市の「市定古蹟」に認定されました。中央閲覧室は「古蹟劇場」へ変わり、戯劇学科の実習に使用されています。

2004年5月から1年間の準備期間を経て、総務部は古蹟と電気設備の修復を担当、図書館は校史館展示の企画とデザインを担当しました。出版部は「校史稿(台湾大学の歴史)」を編集し出版しました。2005年6月22日に、陳維昭学長による開館式をもって、旧総図書館の2階中央閲覧室は第三段階に入りました。10月初めに李嗣浚学



長は校史館の運営を図書館に委ねると指示しました。のちに11月7日から正式に一般公開し、ガイドツアーも提供しました。

2007年の春、校史館の東側2階に薬学系の卒業生・李華林氏の川流基金会の寄付のもと特別展厅が寄贈されました。李氏の台湾大学への慈しみを込め、また、川の流れるように途切れることなく多くの参加者が訪れることを願い「川流庁」と名づけられ、同年の11月15日に除幕式が行われました。初の特別展は「台湾大学の博物館群」特別展となりました。

校史館の常設展の面積は750㎡、川流庁は約300㎡です(利用可能エリアは約15m×15m)。校史館は、常設展や特別展の企画、管理、解説ガイドに

加えて、台湾大学の歴史文化遺産の収集や思い出の募集及び宣伝を行っています。図書館の学校史資料や総務部で保管されている公文書以外、台湾大学のあらゆる文化財を記録・保存することに取り組んでいます。

